

幸世新たな地域づくり計画書 概要版

(期間:平成29年4月～平成37年3月)

平成29年3月

1. 計画策定の背景と趣旨

丹波市が市民と一緒に取り組んできた、[丹波市地域づくり事業 (H19～)、県民交流広場事業 (H21～)、元気な地域づくり事業 (H23～)] の3つのプロジェクト (幸世地域においては、平成26年8月の集中豪雨被害の影響で1年延長) に引き続き今回、平成29年度から平成37年度にかけて取り組む地域づくり事業について、これまでの内容を見直しながら、地域づくり事業計画書の策定を行うこととなりました。

少子高齢化の進む中、PTCA活動 (※) や、高齢者への声かけ、若者の地域事業への参加、幸世の歴史探訪、観光資源の活用など、前回の「幸世ゆめ計画」(H24～H28) で取り組んできた事業をさらに発展させ、幸世交流施設を拠点とした住民の様々な交流と多くの人との“ふれあい”を通じて、地域の活性化に取り組んで行ければと願っています。

※PTCA活動…保護者、教諭にコミュニティ (地域) を加え地域ぐるみで子育てを考える取り組み。

3. 幸世の将来像と基本方針

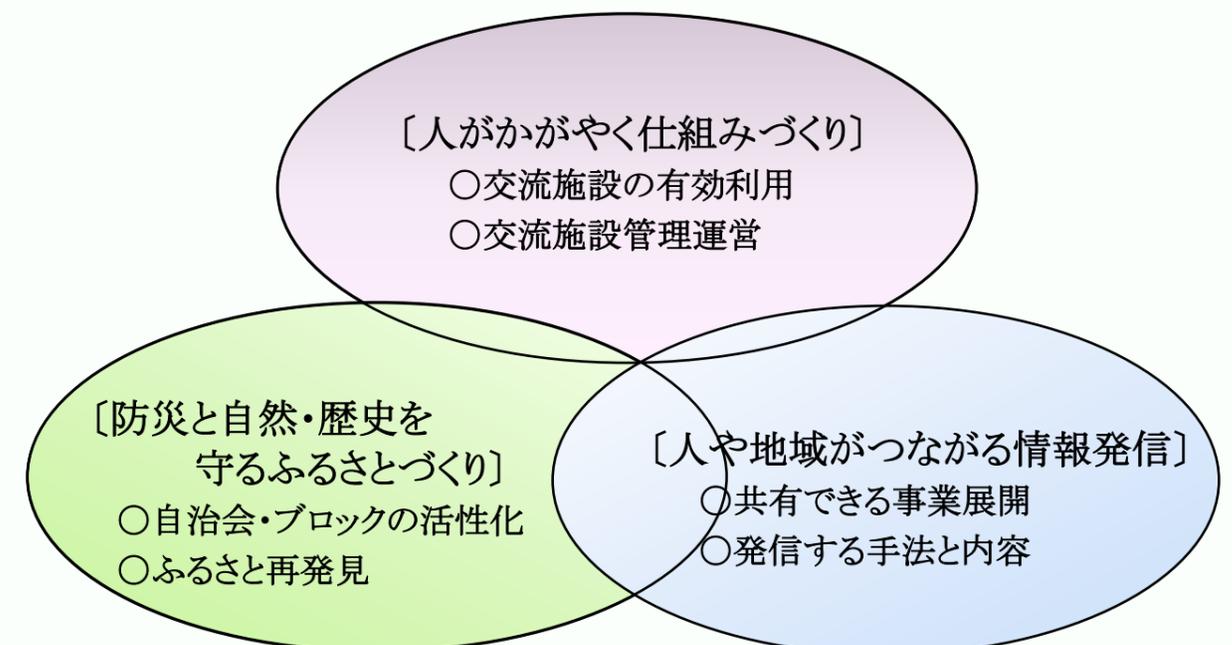
現状の課題を解決していくために子どもからお年寄りまで集いふれあう場を設けて、その場で主体的に活動する姿をめざします。

そして、幸世を巣立っていった人が、サケが生まれた川に戻ってくるように帰って来たくなる温かい人間味あふれる「ふるさと幸世」を築きます。

— 将来像 —

～『ふれあい』あふれる“幸世”～

— 基本方針と事業名 —



2. 現状と課題

①少子高齢化の現状

- ・人口減少が大きな課題となっています。
- ・魅力ある故郷幸世をめざしたいです。

②住民生活の変化

- ・住民意識が希薄になっています。
- ・安心できる地域づくりが課題です。

③自治会の現状と役割

- ・高齢化で単位自治会での活動が難しくなっています。
- ・介護保険制度の見直し等で、地域で解決すべき範囲が広がっています。

④自治会ブロック事業の現状

- ・自治会ブロック事業はやることが一つ増えたとの捉え方をされています。
- ・各自治会が抱える課題を解決するにはブロックでの連携が必要になりつつあります。

⑤自治振興会の状況と役割

- ・幸世交流施設を最大限活用した交流の仕組みづくりが必要です。
- ・幸世地域の現状を把握し、情報を共有することが必要です。

⑥事業企画や計画づくりの現状

- ・企画計画を人任せにしていないでしょうか。
- ・若者も参加できる組織体制をめざします。

⑦地域づくり活動の運営体制

- ・自治振興会において運営組織の検討が必要です。

4. 基本方針に基づく実施事業

①人がかがやく仕組みづくり事業

- 交流施設の有効活用
- 交流施設管理運営
- 事業分野—
 - ・スクールの企画運営
 - ・単発イベント
 - ・ふれあいプラットホーム
 - ・交流施設グラウンドの活用
 - ・交流施設の整備

②防災と自然・歴史を守るふるさとづくり事業

- 自治会やブロックの活性化
- ふるさと再発見
- 事業分野—
 - ・ブロック活性化
 - ・環境美化
 - ・防犯防災
 - ・体育振興事業
 - ・タウンウォッチングによるマップ作りと活用
 - ・観光支援
 - ・校区事業

③人や地域がつながる情報発信事業

- 共有(受け答え)できる事業展開
- 発信する手法と内容
- 事業分野—
 - ・広報誌の発行
 - ・幸世だよりの発行
 - ・事業チラシ・ポスター
 - ・防災無線の活用
 - ・ホームページ、SNSの更新
 - ・啓発グッズの利活用

幸世自治振興会(次期地域づくり計画策定委員会)

幸世地域 人口構成表(平成 28 年 3 月末現在)

自治会名	～14歳	15～64歳	65歳～	自治会合計	高齢化率
絹山	61	193	104	358	29.10%
香良	84	283	142	509	27.90%
伊佐口	19	93	69	181	38.10%
日比宇	25	90	56	171	32.70%
鴨内	39	172	131	342	38.30%
小谷	6	17	19	42	45.20%
沼	35	153	114	302	37.70%
北御油	8	89	47	144	32.60%
南御油	15	52	48	115	41.70%
井中	50	221	156	427	36.50%
北田井	14	112	69	195	35.40%
南田井	5	50	34	89	38.20%
西田井	6	54	41	101	40.60%
田中	22	72	72	166	43.40%
氷上	41	143	116	300	38.70%
南油良	29	80	48	157	30.60%
北油良	19	74	60	153	39.20%
栈敷	21	86	53	160	33.10%
地域全体	499	2034	1379	3912	35.30%

※丹波市人口統計(平成 28 年 3 月末行政区別年齢別人口統計表)による

人口減少予測データ

地域名		2015(H27)	2040(H52)	2060(H72)	人口減少率
幸世	人口(人)	3935	2536	1705	-56.70%
	高齢化率	34.10%	38.60%	37.10%	
中央	人口(人)	4531	3695	2985	-34.10%
	高齢化率	26.80%	29.40%	32.40%	
生郷	人口(人)	4466	4563	4374	-2.10%
	高齢化率	24.00%	24.60%	29.70%	
葛野	人口(人)	2437	1805	1325	-45.60%
	高齢化率	30.50%	36.40%	39.90%	
沼貫	人口(人)	2718	1976	1367	-49.70%
	高齢化率	30.50%	37.00%	44.10%	

※人口減少率は 2015 年を1とした 2060 年の減少率

※資料(「丹波市小学校区別人口推計」H27,10,28 時点版)による

